

夏休み小学生オープンスペース続報



7月26日から始まった夏休み小学生オープンスペースも、8月9日で5回を終了しました。この間の参加者は下の表のとおりで、子ども参加者は平均15人、協力者は12人となりました。

毎回、午前10時からスタートし、まず夏休みの宿題。30分間は、みんな静かに取り組みます。そして、ざわざわし始めたところでトイレットペーパーの芯を利用したくねくね蛇や、紙コップ、牛乳パックを使った円盤づくりなどの工作、輪投げや紙飛行機、ペットボトルを使ったゲームなどで楽しみます。8月2日には、餅コネをして醤油や、きな粉を付けていただきました。

5回目の8月9日は、割り箸などを利用したトンボをみんなで作りました。頭にビーズ玉を付け、胴体部分に絵具で好きな色で着色し、ビニールホルダーを切って羽根にして、羽根の模様を描きます。個性豊かなトンボが出来上がり、

子どもたちも大満足の様子です。そのあと、この日はみんなでソーメンをいただきました。湯がいた麺が全部なくなりました。

このようなことができるのも、たくさんの協力者がいるお陰です。工作では、いろいろアイデアを出しあったり、材料を集めたり、試作をしたりしています。また、食材の寄付もあります。これらを通じて、地域のコミュニティが広がればと思います。あと4回、皆で楽しくやっていきたいと思っています。

福田五月ヶ丘自治会 竹田 幸生

月 日	子ども	保護者	協力者	参加者計
7月26日	10人	1人	10人	21人
7月28日	21人	4人	11人	36人
8月 2日	20人	1人	10人	31人
8月 4日	10人	3人	10人	23人
8月 9日	15人	1人	13人	29人





最終日の8月25日
下に続く



スイカ割り大会が行われました。



そして、みんなでおいしくいただきました。





夏休みの楽しい思い出をありがとう！